

Genius 4年生理科・社会 家庭学習レポート(第10回)
名前 _____

理科

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

	チェック
① 週テストを解き直す	
② 授業用テキストを読み直す (太字になっている部分は書いて覚えるとよい)	
③ 宿題用テキストの基本問題Aと基本問題B	

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題	

担当より一言

昆虫は現在みつまっているものだけで100万種以上、地球上の生物の半数以上だといわれています。様々な環境に適応するために、昆虫たちはそれぞれ工夫をこらしています。

昆虫について確実に覚えてほしいのは以下の点です。これも言葉や数字だけにならないよう、昆虫の図や写真を見ながら覚えるのが望ましいです。

- ・体は頭、むね、はらの3つに分かれている。
- ・足は6本あり、すべてむねについている。
- ・頭には触覚、単眼、複眼、口などがある。
- ・胸には足と羽がついている。羽は基本的には4枚あるが、2枚のなかまや、羽がないなかまもいる。
- ・はらには気門、気管という、呼吸のためのつくりがある。
- ・形をかえる「変態」をして成長する。さなぎになる「完全変態」をするなかまと、さなぎにならない「不完全変態」をするなかまがいる。

昆虫に近いなかまは、昆虫と違う点がわかれば十分です。

社会

基本メニュー（☆☆☆）…必ずやりましょう。

	チェック
① 第10回授業用テキストを読み、基本問題を解く前に少しでも覚える。	
② 第10回宿題用テキスト 基本問題A・B	
③ 第10回確認テストの見直し（間違えた問題の見直し）	

応用メニュー（☆☆）…基本メニューが全て終わって余裕があればやりましょう。

	チェック
① 第10回宿題用テキスト 練習問題A・B	

発展メニュー（☆）…チャレンジしたい人はやりましょう。

	チェック
① 第10回発展問題	

担当より一言

今回は、「長野・山梨」について学びました。今回は、同じ内陸県で、隣り合っている2つの県でした。ここでも、それぞれの県で特徴的な農業を行っていましたね。

まずは長野県。日本の中でとくに標高が高い都道府県で、日本アルプスと呼ばれる3つの山脈がある県です。標高が高いということは夏の気温が……低いということ。この気候をいかした高冷地農業を行っていましたね。他の地域ではつukれない時期に野菜をつくることで、利益をあげています。

一方の山梨県。ここはとくに盆地での農業が特徴でしたね。水はけがよく、気候もくだものづくりに向いていることから、ぶどうやももの栽培がさかんでした。関東からも近いので、ぶどう狩りなどに行ったことがある人もきっといることでしょう。

今回も、気候と農業のつながりが一番のポイントとなりました。隣り合っている県であっても、気候が違えば農業も変わるということ。逆に、隣り合っていないくても、似ている気候であれば、同じような農業をしているところがあるということです。

似ているところ、ぜひ探してみてください。